

都市計画の変更案を縦覧します

季美の森南地区と国道128号沿道地区の一部を市街化区域に編入



市街化区域に編入予定の季美の森南と国道128号沿道周辺



関係都市計画課 ☎043(223)3161
都市整備課都市計画係 ☎(70)0360

都市計画の見直しでは、将来人口の見直し、少子・高齢化の動向などの状況を踏まえ、都市計画の目標や目標年次、人口フレーム等に関連する変更を行います。

また、季美の森南地区と国道128号沿道地区の一部を市街化区域に編入し、用途地域、高度地区、地区計画、道路等の都市計画決定を予定しています。

この変更にあたり、案がまとまりましたので、縦覧を行います。

※案の内容は、素案と変更ありません

◆案の縦覧

▼種類 ①都市計画区域の整備、開発及び保全の方針、②区域区分、③用途地域、④高度地区、⑤地区計画、⑥道路、⑦公園

▼縦覧期間・場所
①、②、⑥のうちの県道部分
11月3日(火)～17日(火)9時～17時・県庁都市計画課
※土・日・祝日を除く
①～⑦すべて11月3日(火)～

▼提出先 都市整備課まで持参または郵送
▼提出期間 11月3日(火)～17日(火)消印有効

※縦覧場所は配布
▼対象 町内に住所のある方(法人を含む) および利害関係のある方

▼意見書の提出
この案について、ご意見のある方は、その内容と住所、氏名等を記載した書面(意見書)を、案の種類①、②、⑥のうちの県道部分は知事あてに、③、④、⑤、⑥のうちの町道部分、⑦は町長あてに提出してください。

※様式は縦覧場所でも配布
▼町都市整備課
17日(火)8時30分～17時15分
※町ホームページでも掲載

◆意見書の取り扱い

都市計画の決定を行う際は、県都市計画審議会または町都市計画審議会の議決を経ることとされています。

提出されたご意見は、その要旨を審議の判断資料の一つとして、審議会に提出します。

名誉町民

十枝雄三翁を語る②

「胸像建設委員会がスタート」

8月24日、十枝雄三翁胸像建設発起人会が中央公民館で開かれ、文化協会の石井会長より胸像建設計画の経緯について、説明と協力要請がされました。

続いて、両総土地改良区の森英介理事長(衆議院議員)、阿井伸也県議会議員、堀内慶三町長の各位より、九十九里平野に安定的な農業生産の今日あるのは、両総用水事業を成し遂げた十枝雄三翁等、先人の苦闘の賜物と、顕彰事業の意義を力強く激励されました。

次に文化協会の鈴木理事より「両総用水と十枝雄三翁」特別展、「十枝雄三日記」の解説と編集発行、「両総用水施設と銘板見学ツアー」等を通じて新たに顕彰の機運が起こったことを説明。また町内居住の彫刻家、北井博文氏が翁の偉大な業績に感銘し、その面影を塑像に製作し町に寄贈されたのを、町美術品購入選定委員会がブロンズ像に鋳造されたことなど、発起人会開催に至る経過が報告され、会議に立ちました。

冒頭、出席者より発起人会を建設委員会に発展させ、以降、建設委員会として活動するよう提案があり、それを了承し次の役員が決定しました。

(顧問) 森英介、阿井伸也
(会長) 板倉静雄
(副会長) 金坂英雄、石井清一



建設完了後のイメージ

- ◆建設委員 35名
(監事) 古山忠雄、小倉幸事務局長、会計等は文化協会役員が担当します
- ★第1回建設委員会決定事項
- 1. 活動について
十枝翁の胸像建設資金の協力を町内および関係方面に願います。
- 2. 募金目標総額は二百万円とし、募金額は一口千円からとする。
- 3. 募金受け入れ口座は「J.A.山武郡市大網山辺支所」に置く。
- 4. 建設に係る業者選定については、透明性を求める助言があり確認する。
- ★募金活動にご協力ください

募金説明のチラシは、回覧板、両総用水関係、公民館活動グループや町内各種団体等のご協力を得て、各家庭までお願いしています。一口以上、いくらでも、どなたでも募金できます。

☆建設予定地は、「十枝の森」入口付近を予定しています。あなたのご理解とご協力を永年に記念してください。

提供 町文化協会/鈴木 ☎(7)2682

大網病院だより 25

骨粗鬆症のおはなし ⑥治療

骨粗鬆症は、人間の最もかかりやすい病気です。専門病院もたくさんできてよいはずですが、この病気についての知識は、最近になってやっと深まりだしたため、残念ながら対応が遅れているのが現状です。

骨粗鬆症は、主に整形外科、外科、内科、婦人科の医師によって診療が行われています。これは骨粗鬆症が単に骨だけの病気ではなく、全身の代謝に関係している病気だからです。診療科によって治療へのアプローチの仕方が多少違うので、自分はどの診療科へ行ったらよいかをあらかじめ考えておくとよいでしょう。

患者さんが腰背部痛などの自覚症状を訴えて行くのは整形外科が多く、骨折を起こした重症の患者

さんも整形外科の守備範囲となります。

更年期障害で婦人科にかかっている方は、まだ腰は痛くないけれども骨量を測ったら少し減っていたので、ホルモン補充療法の治療を始めたというような場合があります。

また、かかりつけの内科の先生にみてもらうこともあります。大きな病院では、整形外科・内科などの複数の診療科で診ているところもあります。

このほかにも、骨粗鬆症の精密検査を受けた病院へ通う、骨粗鬆症外来や骨ドッグのある病院へ行くなど、さまざまな方法があります。一度かかりつけの医師や保健所などに相談するとよいでしょう。

関係大網病院 ☎(72)1121

歯っぴーライフ 57

「良い歯の親子をご紹介します」

9月号に引き続き、「平成18年度親子の良い歯のコンクール町審査」に参加した2組の健口親子をご紹介します。また、良い歯の秘けつについても伺いました。



池田由紀子さん・悠祐くん

「特にこれといって、気を付けていることはありませんが、夜は、必ず歯磨きをしています。間食は、できるだけ時間を空けて食べるようにしています。おやつ後は、お茶を飲んでます」



古川眞美子さん・珠里ちゃん

「飲み物は、牛乳と麦茶が中心で、ジュースは飲みません。また、食後にお茶を飲んでます。歯磨きは、朝晩2回しています。仕上げ磨きは、1日1回、お風呂でしています」

2組とも、上手にムシ歯予防をしているようです。特に間食のとり方では、おやつを与えるタイミングや飲み物内容に気を付けているようです。

健康な歯。それは親から子への最高のプレゼント！今後も8020(80歳で自分の歯を20本以上残す)目指して、親子で頑張ってください。

関係健康福祉課健康指導係 ☎(72)8321